

武者小路實光 むけのりひかり フランスマ文學翻譯家。明治四十二年一月五日  
 東京生れ（一九〇一）。外交官武者小路公共の長男。昭和七年東京帝國  
 大學文學部佛文科卒。東京高等學校、東大教養學部、獨協大學各教授  
 歴任。作家武者小路實篤は叔父。

譯書、ヤンドレ・ザイド作『下手な繋がりたプロメテ』（昭和五年七  
 月一日白向堂）、『モーパッサン短篇全集』（共譯、第七卷『愛怨小  
 説集』昭和十二年四月十五日、第八卷『諷刺小説集』五月十五日河出  
 書房）、『ギョルゲエ・ルオー著『我が回想』』（昭和十八年二月十日中  
 島書林）、『バドレイ上編』（リュシヤン・ブラツタル著）『フランス文學史  
 ・第二卷』中世末期『文學』（共譯・辰野 隆監修、昭和十八年  
 六月十日創元社『創元選書』）、ヤンドレ・ザイド著『ドストエフス  
 キー論』（昭和二十一年十月五日日本社『日本文庫』）、アラン著『プ  
 ラトンに關するキー論』（昭和二十二年十一月十日日本社）、同『暴  
 力の敗退・上』（昭和二十四年八月十日創元社）、シヨルジュ・ルオ  
 『著者回想』（昭和二十八年十一月一日左在實刊行會）等。